

基本情報						
教科・科目	高2・数学Ⅱ 文系	・授業で使用するもの ・高等学校 数学B(数研出版) ・ノート ・iPad				
担当者	若林亮介					
評価割合(試験:試験外)	試験:6割 試験外:4割	試験は、単元目標およびく知技、思判表、主体>の3観点に沿って出題する。				
年間を通じて教科で培う力	鍛錬(知識及び技能)	統計的な推測に関する定義・定理・公式を理解し、適切な範囲で正確に使用して計算や証明ができる。図やグラフを用いて、数列・空間の性質を視覚的に表現できる。				
	理知(思考力・判断力・表現力等)	定理や公式の導出過程や計算手順の意味を整理し、問題の背景や根拠を理論的かつ明確に説明できる。解答に至るまでの過程を数式や図を組み合わせて示し、考え方をわかりやすく表現できる。複数の単元の中から必要な理論を選び、様々な解法の中から効率性や正確性をふまえて適切な方法を選択できる。				
	探求・観智(主体的に学習に取り組む態度)	初見問題や融合問題に対して、条件を整理し、解法の筋道を論理的に立てて取り組むことができる。他者と解法と比較・共有する中で、新たな視点を自らの学習に取り入れることができる。解けなかった問題について原因を分析し、次に取り組む課題を自ら設定できる。また、その課題に対して粘り強く試行錯誤しながら取り組むことができる。				
学習情報						
月	回	単元(学習)目標	単元目的(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4	4	確率分布で表現でき、データの平均や分散と標準偏差を求められる。	・確率分布の性質や特徴について理解し、それをもとにデータを平均、分散、標準偏差等を用いて分析することができる。また、事象を統計的に推測したり、その結果を批判的に考察したりできる。	・確率やデータの分析の単元と関連付けながら確率分布について、性質を予想したり、予想した性質が成り立つかどうかを考察したりする。 ・確率分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察する。 ・目的に応じて標本調査を設計し、母集団の特徴や傾向を推測したり、結果について批判的に考察したりする。	・講義 ・言葉による表現 ・グループワーク	・授業開始時の復習プリント ・小テスト ・講義への応答
5	6	確率変数Xの平均や分散の性質を理解し、正しく計算ができる。二項分布の確率を求めることができる。	・確率変数Xの平均、分散を正しく計算でき、その性質を利用できる。 ・二項分布とは何かを理解できる。平均と分散を求めることができる。	・確率やデータの分析の単元と関連付けながら確率分布について、性質を予想したり、予想した性質が成り立つかどうかを考察したりする。	・講義 ・言葉による表現 ・グループワーク	・授業開始時の復習プリント ・小テスト ・演習プリント ・講義への応答
6	定期試験① 令和8年 6月3日—6月5日)					
6	6	・正規分布の性質や特徴について理解し、それをもとにデータを平均、標準偏差等を用いて分析することができる。また、事象を統計的に推測したり、その結果を批判的に考察したりできる。	・正規分布の性質を理解し、正しくデータの平均や標準偏差を求めることができる。 ・データの特徴や傾向について表現できる。	・正規分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察する。 ・目的に応じて標本調査を設計し、データを計算ソフト等を用いながら処理し、母集団の特徴や傾向を推測したり、結果について批判的に考察したりする。	・講義 ・言葉による表現 ・グループワーク	・授業開始時の復習プリント ・小テスト ・演習プリント ・講義への応答
7	7					
7	定期試験② 令和8年 7月15日—7月17日 範囲)					
8	-					
9	6	これまでの復習・演習	・既習の内容に関して総合的な理解を深め、数学的な表現・処理および直観と思考力を育む。	既習内容の復習と演習、模試対策や入試問題へ取り組む	・講義 ・言葉による表現 ・グループワーク	・授業開始時の復習プリント ・小テスト ・講義への応答
10	3	これまでの復習・演習	・既習の内容に関して総合的な理解を深め、数学的な表現・処理および直観と思考力を育む。	既習内容の復習と演習、模試対策や入試問題へ取り組む	・講義 ・言葉による表現 ・グループワーク	・授業開始時の復習プリント ・小テスト ・演習プリント ・講義への応答
10	定期試験③ 令和8年 10月21日—10月23日 範囲)					
11	7	これまでの復習・演習	・既習の内容に関して総合的な理解を深め、数学的な表現・処理および直観と思考力を育む。	既習内容の復習と演習、模試対策や入試問題へ取り組む	・講義 ・言葉による表現 ・グループワーク	・授業開始時の復習プリント ・小テスト ・講義への応答
12	2	これまでの復習・演習	・既習の内容に関して総合的な理解を深め、数学的な表現・処理および直観と思考力を育む。	既習内容の復習と演習、模試対策や入試問題へ取り組む	・講義 ・言葉による表現 ・グループワーク	・授業開始時の復習プリント ・小テスト ・演習プリント ・講義への応答
12	定期試験④ 令和8年 12月9日—12月11日 範囲)					
1	5	これまでの復習・演習	・既習の内容に関して総合的な理解を深め、数学的な表現・処理および直観と思考力を育む。	既習内容の復習と演習、模試対策や入試問題へ取り組む	・講義 ・言葉による表現 ・グループワーク	・授業開始時の復習プリント ・小テスト ・講義への応答
2	9	これまでの復習・演習	・既習の内容に関して総合的な理解を深め、数学的な表現・処理および直観と思考力を育む。	既習内容の復習と演習、模試対策や入試問題へ取り組む	・講義 ・言葉による表現 ・グループワーク	・授業開始時の復習プリント ・小テスト ・演習プリント ・講義への応答
3	定期試験⑤ 令和9年 3月4日—3月6日 範囲)					